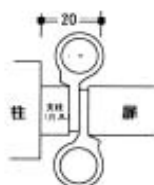


自由蝶番 SUS

自由蝶番

自由蝶番取付方法

自由蝶番調整取付方法



*ドア重量の表示は、通常の開閉で使用する場合の数値です。
自由蝶番の特徴であるバネ等の複合品の為、特に必要外の荷重を掛けたり、強い衝撃を与えると破損する場合があります。

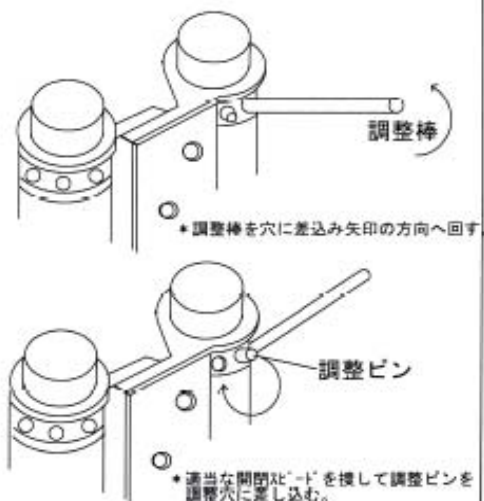
*両開用の蝶番の取付の場合には、必ず、高さが20mm位で幅が扉幅と同じ位の支柱〈打木〉を柱に取付ける必要があります。

*取り付けが終わった支柱に蝶番の羽根の高さ（A）と蝶番の羽根の厚み（B）を支柱に掘込んで下さい。（蝶番の羽根の部分を支柱に掘込まずに取付ける方法もあります。）

*掘込みの終わった溝に蝶番を取付ける際、調整穴を上にして取付けて下さい。

*扉を支柱に取付けが終わると調整棒で扉の適当な開閉スピードを捜して調整ピン（Q）を上下両方の蝶番の調整穴に差し込んで下さい。

*調整ピンはバネが十分に働く位置で止めて下さい。バネが効いてないと蝶番が垂れ下がります。



*調整棒を穴に差し込み矢印の方向へ回す。

*適当な開閉スピードを捜して調整ピンを調整穴に差し込む。

